

はーと・シップ

「はーと・シップ」はハートフルシティとパートナー・シップを
合わせて小野市の男女共同参画を表す愛称としています。

HEART SHIP



被災地からのメッセージ ～子育て支援の立場から生の声を届ける～
NPO 法人せんだいファミリーサポート・ネットワーク 子育てふれあいプラザ のびすく仙台館長 伊藤仟佐子さん
主催 小野市女性団体連絡協議会 小野市 小野市男女共同参画センター 小野市女性就業支援センター

パネリスト 勝木洋子さん・伊藤仟佐子さん・須田 和さん
(左から)



NPO 法人せんだいファミリーサポート・ネットワーク
子育てふれあいプラザ のびすく仙台館長 伊藤仟佐子さん



女性フェスティバル2011
テーマ「震災復興と女性」
主催 小野市女性団体連絡協議会

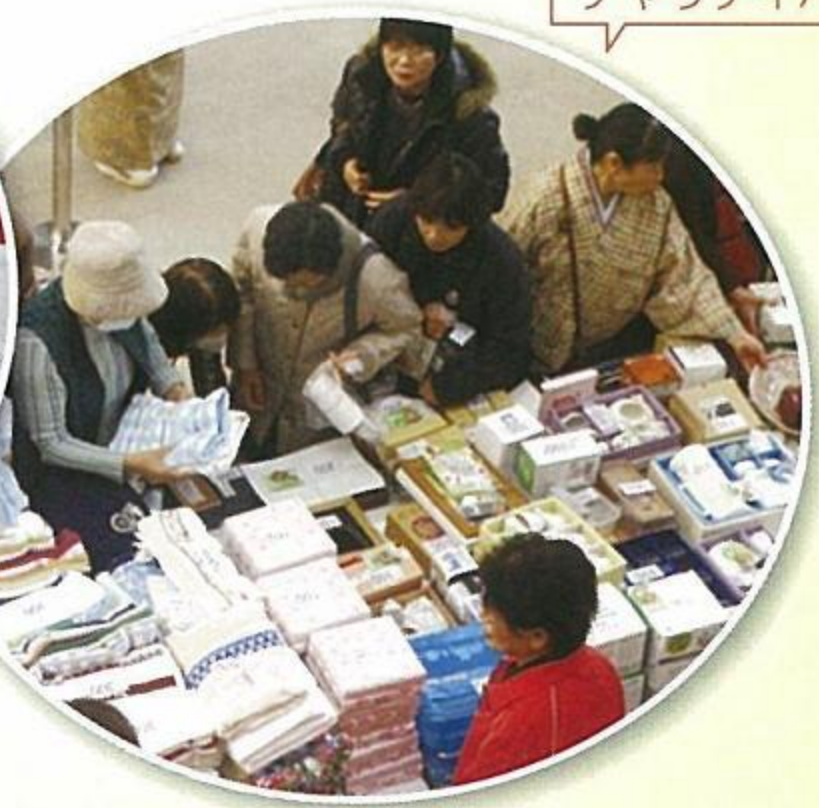
女性フェスティバル2011 テーマ「震災復興と女性」 平成23年12月10日(土) 小野市うるおい交流館エクラにて



アトラクション



茶席



チャリティバザー

仙台で子育て支援の活動をされている伊藤仟佐子さんを講師に迎え「被災地からのメッセージ～子育て支援の立場から生の声を届ける～」をテーマに、講演会を開催しました。震災当日の混乱した状況や、なかなか進まない復興、心のケアの必要性などニュースでは知りえない現状を伺いました。

後半には伊藤館長を囲み、須田さん、勝木さんとのディスカッションが行なわれ、いつ我が身に降りかかるかわからない災害に対応できるよう、日頃の心がけの大切さや、特に避難所運営については女性の視点に立つことの重要性が話されました。

突然奪われた日常生活……。伊藤さんのお話は心が痛む現実であり、当たり前前に生活できることがどれほど幸せか。被災地へ心をより添わせながら、自分のできる支援を継続していくことが大切だと感じました。

アトラクションの部では華やかな踊りや寸劇、むかし遊びなどが披露されました。

今回は協力企業や女性団体のメンバーが提供した品物でのチャリティバザーも行なわれ、収益金は全て NPO 法人せんだいファミリーサポート・ネットワークに寄付されました。

今回の特集は **北播磨の女性市町議会議員 初の座談会** です。

特集

～未来へつなぐ～

北播磨の女性市町議会議員 初の座談会

わが国では、「社会のあらゆる分野において、2020年までに指導的位置に女性が占める割合が、少なくとも30%程度になるよう期待する」という目標の達成に向けた様々な取り組みが行われています。

今、国会議員に占める女性の割合は、衆議院は10.9%、参議院は18.2%です。(平成23年5月現在) 小野市でも※「はーと・シッププラン」のなかに政策・方針決定の場に男女ともに参画することを課題の一つに挙げ、平成23年4月には3名の女性議員が誕生し、女性の議員率は19%となりました。

しかし、北播磨地域の女性の議員率は9.1%と、目標の30%にはまだまだ開きがあります。

そこで「意思決定の場に女性が参画することの意義」をテーマに、小野市男女共同参画センターとNPO法人北播磨市民活動支援センターのよびかけで、議会のなかでは少数派と言える女性議員たちが市町の枠を超えて親交を深め、意見交換のできる座談会を開きました。



(H.23.10.4 小野市うるおい交流館エクラ 大会議室にて)

出席者 (敬称略)			
三木市	立石 豊子	4期目	
	堀 元子	1期目	
	松原 久美子	1期目	
小野市	河島 三奈	1期目	
	小林 千津子	1期目	
	高坂 純子	1期目	
加東市	岸本 眞知子	1期目	
多可町	高澤 榮子	2期目 (合併後)	
コーディネーター	勝木 洋子		
	(神戸親和女子大教授)		
	(加西市 高橋佐代子 3期目 行政視察のため欠席)		

議員になろうとした理由・きっかけ

- ・女性ならではの意見を行政に届けたい。
- ・議会を盛り上げていきたいという思いから。
- ・若い世代の声を届けて、10年、20年後の市を変えたい。
- ・たくさんの人と接して、皆の声を届けたい。
- ・大事なことが住民の知らない間に決まってしまうことに疑問を感じるとともに、住民の声を行政に届けたいと思ったから。
- ・周囲の応援を受けたから。
- ・行政について勉強会をしたのがきっかけで、意思決定の場に女性の意見が必要と思った。



コーディネーターからの「選挙に立候補するにあたって、男性に比べて経済的弱者である女性には選挙費用が負担にならないか、社会的な立場がないと応援してくれる人が少ないのではないかな」といった不安材料があったのでは」との問いに対し、周囲の協力が得られたり、節約してムダをはぶいたことなどのエピソードや意見が活発に交換されました。

※「はーと・シッププラン」は小野市、または小野市男女共同参画センターのホームページにてご覧頂けます。

議員になって思うこと・今後の課題

- ・表には出ない仕事の多さにびっくりした。
- ・議会に出席する行政側には女性がほとんどいない。
- ・高齢化がすすむ市を元気にするためには顔の見える支え合いが必要。
- ・行政がお金を出している活動には、目が届いているがその他の市民活動には目が届いていない。その活動を支援していく為に行政に働きかけたい。



新人議員は「発言に気をつけようとして、口数が少なくなった」「勉強してから発言しようと思う」など、議員としての責任を重く感じられる声がかれました。先輩議員からは「失敗をしてもめげずに体当たりで頑張ればいい」「変に「議会用語」とかを覚えなくてもいいのでは」といったアドバイスもあり、自分の進むべきビジョンを明確にもってがんばってこられた自信がうかがえました。

議員として男女差を感じることは

- ・発言をおさえられようとしたこともある。
- ・若い世代では男女差をあまり感じていない。
- ・議員の中では差を感じないが、世間では女性議員にきびしさを感じる。
- ・女性議員が増えて男性議員も触発されている。
- ・「もっと女性議員がいたら改革できる」と期待している男性議員もいる。
- ・まだまだ議会は男性が多いが、男女に関係なく協力してやっていきたい。
- ・性別や世代をこえて、もっと住み良い街にしたいという思いを持つ人が増えてほしい。

経験を積んだ先輩議員と、議員として始まったばかりの新人議員が、情報を交換し、つながりを持つことがこれからの女性議員のあり方を築いていくであろうと感じました。

コーディネーター 勝木さんから

「意思決定の場に女性の参画が必要」ですが、そのためには、その人を支える人・場を育てていくことも大切です。女性議員が増えるとう行政側にも女性の管理職が増えるのではないのでしょうか。

絶対少数派の人たちが、活躍する姿を子どもたちに見せることによってロールモデルとなり、40年後の街が変わります。

オピニオン・リーダーとして、女性議員の活躍を期待しています。



「女性の参画は大切ですが、参画するだけではダメ。意思決定の場に女性がいないければ、結果的には、女性の意見は反映されない。」という言葉が強く印象に残りました。

「政治を変えたい！地域を変えたい！」という女性議員たちの熱い思いが伝わる活発な発言や今後の連携を望む声も聞かれました。これを機に市町枠を超えたネットワークで、災害対策など様々な政策に取り組みたいかされるのではないのでしょうか。小野市男女共同参画センターでは、共に学ぶ場を持つなど今後も女性議員のみなさんと連携できればと考えています。

世の中を変えていこうとする勇気と自分へのチャレンジ精神に溢れるみなさんと接し、「より住みやすい素敵北播磨」になりそうな予感に終始ワクワクする座談会となりました。

お忙しい中、ご参加いただき本当にありがとうございました。

(小野市男女共同参画センター長 向山)

ハートフル パートナー

Vol.20

「そば」で地域の活性化に取り組んでいる JR 小野町駅構内にある NPO 法人「ぷらっときすみの」のみなさんにお話を伺いました。



Q 「ぷらっときすみの」を始められたのは？

地元の小学校の体験授業で、生徒たちが育てたそばのそば打ちを手伝ったときに、生徒たちから「地域でも作ったらいいのでは」と提案されたのがきっかけです。

高齢化する地域を活性化するために、休耕田でそばを育て、地元の米や野菜は巻き寿司や惣菜にして、昔ながらの地域の味を次の世代へ伝えていきたいと、営農組合役員の妻たち約 10 名で始めました。

地元の方ばかりではなく、手伝いたいという方が集まってきて、今では 23 名ほどで活動しています。

Q こだわりは？

お客さんに喜んでもらうことを第一に、100%地元の食材を使った、無添加で安全な食品を手作りしています。おいしく食べてもらうために、作り置きはせずその日のうちに消費しています。

おそばを食べに来て惣菜を買って帰る、惣菜を買いに来たついでにおそばも食べられる、そんな気軽に寄ってもらえる場所作りをしています。

Q 今後は？

より多くの方に食べてもらえるように、乾麺の商品化や、巻き寿司や惣菜の販売箇所を広げたいと考えています。

店内の客席も 16 席しかないので、お客さんをお待たせしないようにもう少し増やせたらいいなと思います。

また、そば打ちや巻き寿司の体験教室を通して地域の食文化を伝承していきたいと思っています。

Q みなさんにとって男女共同参画とは？

加工グループで男性と女性と一緒に活動するのは全国的に見ても珍しいようですが、どちらかだけではいい面もありますが困る面もあります。男女がいることで、お互いの得意分野を生かして助け合っていることだと思います。

メンバーの平均年齢は 61 歳。ここに来ることが楽しくて、いきいきとしています。

訪問した日は、テレビで紹介された後だったこともあり、客足が絶えず行列ができていました。その日の予定数が完売していましたが、追加でそばを黙々と打たれている姿に感動しました。

無料相談窓口案内 市外の相談窓口もご利用頂けます。

実施機関	種類	所在地	電話番号	実施日時
小野市男女共同参画推進グループ	女性のための さまざまな相談	小野市中島町 72 小野市うるおい交流館 エクラ内	電話相談 (随時) 0794-63-8250	木曜日 9:30~11:30
			面接相談 (予約制) //	木曜日 13:00~16:00
			※託児ご希望の方は、ご相談ください。	
小野市民病院	女性のための 医療専門相談	小野市中町 323 小野市民病院内	面接相談 (予約制) 0794-63-2020	木曜日 13:30~16:00
小野市 ヒューマンライフグループ	いじめ等相談 (ONOHIMAWARIほっとライン)	小野市役所内	電話・面接相談 (随時) 0794-62-4110	月曜日~金曜日 9:00~17:00
三木市男女共同参画センター こらぼーよ	女性のための 相談室	三木市福井1933-12 (教育センター3階)	電話相談 (直通) 0794-89-2354	火曜日 10:00~12:00
			面接相談 (要予約) 月~金・9時~17時受付 0794-89-2331	木曜日 13:00~16:00
				火曜日 13:00~16:00 木曜日 10:00~12:00
兵庫県立男女共同参画センター	女性のための 悩みの相談	神戸市中央区 東川崎町 1-1-3 (神戸クリスタルタワー7階)	電話相談 078-360-8551	月~土曜日 9:30~12:00 13:00~16:30
	男性のための相談		電話相談 078-360-8553	第1・3火曜日 17:00~19:00
	不妊専門相談		電話相談 078-360-1388	第1・3・4土曜日 10:00~16:00
	※詳しくは、078-360-8550 へお問い合わせください。			
兵庫県立女性家庭センター (配偶者暴力相談支援センター)	電話相談	—	電話相談 (随時) 078-732-7700	毎日 9:00~21:00
日本司法支援センター (法テラス)	法的トラブルに 関する情報提供	—	電話番号 0570-078374	平日 9:00~21:00 土曜日 9:00~17:00

本誌に対するみなさまの率直なご意見やご感想をお聞かせください。
ハガキ、ファックス、Eメールで受付しています。

■事務局 小野市男女共同参画センター (NPO 法人 北播磨市民活動支援センター)
〒675-1366 兵庫県小野市中島町 72 番地 小野市うるおい交流館エクラ
TEL 0794-62-6765 FAX 0794-62-2400
URL <http://www.ksks-arche.jp/danjo/> E-mail: danjo@ksks-arche.jp

相談室から

夫やパートナーに理解してもらえない…。夫婦関係の相談では、親の介護や子どもの進学、夫の不貞行為などきっかけは様々ですが、一番身近でわかってきていると思っていた夫やパートナーに、理解も評価もされていなかったことに気づき苦しんでいる方も少なくありません。

言葉に出さなくてもわかってきているという安心が崩れ、そのような事態になったことで自分を責め、混乱やうつ状態になる方もいらっしやいます。

女性のための相談では、まず、プライバシーの守られた安全で安心な相談室で、気持ちと状況を丁寧にお聴きします。

気持ちを言葉にすると、「腹が立つ」が「受け止めてもらえず、悲しかった」「私は認めてもらいたかったのだ」など、自分の豊かな感情に気付いたり、現状を客観的にみることができるようになります。そして、明らかになった気持ちや思いを相手にどう伝えるかを共に考えます。

自分を大切にしながらも、同時に相手のことも配慮する自他尊重の伝え方を用いると、不平不満や自信喪失に傾くことなく、ありのままの自分をやさしく尊重できるようになります。

身近な夫やパートナーとの関係で悩まれた時は、どうか一人で我慢せず、相談室をご利用ください。